

2026 年(令和8年)度入学者選抜【出題意図】

選抜区分	実施日	科目
一般選抜 前期(1日目)	2026 年 2 月 3 日(火)	英語

[1] 発音問題	英語の音声体系に関する基礎的な知識を測定します。同じ綴り字が異なる音を表す場合や、異なる綴り字が同じ音を表す場合を正確に識別できるかを問います。これを通じて、正確な発音の理解が身についているか、また音声面での英語の基礎力を備えているかを確認することを目的としています。
[2] 文法・語彙問題	英語の基本的な文法知識と語彙運用能力を測定します。受動態、関係代名詞、時制、分詞構文、句動詞など、大学レベルの英語学習で必要となる頻出文法項目について、文脈に応じた適切な形式を選択する力を問います。これらを通じて、英語の構造を正確に理解し、実際の文脈で適切に運用できる基礎力があるかを確認することを目的としています。
[3] 読解問題(会話文)	公共交通機関の歴史に関する会話文を通じて、英語の実用的なコミュニケーション能力を測定します。主題の把握(問 1)、細部の理解や推論(問 2)、文脈に即した適切な表現の選択、および英語での自己表現力(問 3)を問います。これらの設問を通じて、歴史的・技術的な話題を含む自然な会話の流れを理解し、文化的・歴史的背景(ロンドン地下鉄の開業)を含む情報を正確に読み取る力、さらに自分の考えや経験を英語で表現する基礎力を備えているかを確認することを目的としています。
[4] 語順整序問題	英語の文構造に関する理解と、正しい語順で文を構築する能力を測定します。単なる語彙や文法知識だけでなく、前置詞句の配置、慣用表現、複雑な文構造など、複数の文法規則を統合的に運用する力を問います。これを通じて、英語特有の構文を理解し、意味の通る正確な文を組み立てる実践的な能力を備えているかを確認することを目的としています。時事的な話題(火災、AI 教育、ロボット競技、SNS 規制など)を題材とすることで、現代社会における英語の実用性も重視しています。
[5] 読解問題(説明文)	大学での学習に必要な科学技術系のアカデミックな英文を正確に読み解く能力を測定します。和訳(問 1)では複雑な文構造の深い理解を、要約(問 2・問 3)では専門的情報の抽出と整理能力を、真偽判定(問 4)では詳細な読解力と論理的思考力を問います。これらの設問を通じて、国際宇宙ステーション(ISS)などの科学的内容を包含する英文の論理展開を把握し、重要な情報を正確に理解・処理する総合的な読解力を備えているかを確認することを目的としています。